

令和5年9月1日

報道機関 各位

国立大学法人 電気通信大学

「デザイン思考・データサイエンス（D×2）^{デンツ}プログラム」を拡充

【概要】

電気通信大学（所在地：東京都調布市、学長：田野 俊一）は、2023年（令和5年）4月に開設した情報理工学域Ⅰ類（情報系）及び大学院情報理工学研究科博士前期課程情報学専攻の専門教育プログラム「デザイン思考・データサイエンスプログラム」（学士・修士一貫プログラム）を2024年度（令和6年度）4月から一層強化・拡充し、入学定員をそれぞれ学域では30名増員して45名に、博士前期課程では10名増員して20名とします。

さらに、理工系分野における女性の活躍を推進するため本プログラムの学校推薦型選抜を女子枠により実施します。

また、この取組は「令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援事業）」（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施）に採択されました。

【プログラムの特徴】

本プログラムは、「問題解決能力の育成」、「シミュレーション能力の修得」、「因果推論能力の修得」を3つの柱として以下のような演習・実習を重視した実践的教育を実施します。

・現実社会の課題（データ）の活用

連携企業において実際に蓄積されているビッグデータを教材として活用し、現実社会の課題解決方策を学修します。

・デザイン思考・データサイエンスブートキャンプ

国内外の第1級データサイエンティストによる合宿形式の演習（ブートキャンプ）を実施します。

・Kaggle Master 等によるKaggle¹⁾講義

学域生に対しKaggle Master 等による講義を実施し、在学中の称号取得を目指します。

・国内外へのインターンシップの実施

連携企業へのインターンシップをプログラム中2回（国内企業、海外企業各1回）実施します。

・実務家教員による実践教育

大手IT企業等から実務家教員を招へいし実践的な教育を実施します。

・学校推薦型選抜を女子枠により実施

理工系分野における女性の活躍を推進します。(9月上旬募集要項発表) など

今後、本プログラムの詳しい情報をウェブサイト等で公表する予定です。

(定員増については概算要求事項のため、今後変更となる場合があります。)

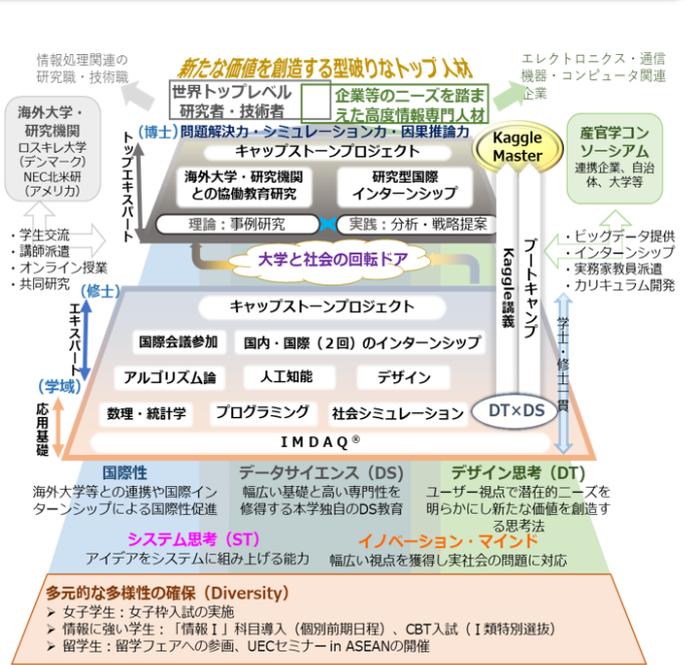
情報理工学域		大学院情報理工学研究科 (博士前期課程)	
令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
I類 (入学定員 225名) メディア情報学プログラム 経営・社会情報学プログラム セキュリティ情報学プログラム デザイン思考・データサイエンスプログラム 入学定員 15名	I類 (入学定員 255名) メディア情報学プログラム 経営・社会情報学プログラム セキュリティ情報学プログラム デザイン思考・データサイエンスプログラム 入学定員 45名 (30名増員)	情報学専攻 (入学定員 120名) メディア情報学プログラム 経営・社会情報学プログラム セキュリティ情報学プログラム デザイン思考・データサイエンスプログラム 入学定員 10名	情報学専攻 (入学定員 130名) メディア情報学プログラム 経営・社会情報学プログラム セキュリティ情報学プログラム デザイン思考・データサイエンスプログラム 入学定員 20名 (10名増員)

新たな価値を創造する型破りなトップ人材の育成
「デザイン思考・データサイエンスプログラム (D×2 (デンツー) プログラム)」の設置

Innovation (新たな価値を創造する型破りなトップ人材)
 ◆IMDAQ® (イムダック) ※の幅広い知識及び高い専門性に基づく実践力と世界で活躍する国際性を兼ね備え、現実社会でイノベーションを創出し、産業振興に資する高度情報専門人材を育成
 ※「情報 (I)、数理 (M)、データサイエンス (D)、人工知能 (A)、量子 (Q)」を表す略語で本学の登録商標

Communication (相互理解教育)
 ◆独自のカリキュラムを展開する情報系分野の基礎・基盤を持つ大学
 ◆「学域 (学部) ・修士6年一貫コース」+「博士課程」で大学と社会の回転ドアを構築
 ◆「デザイン思考」と「データサイエンス」を融合した日本初のプログラム
 ◆企業等の実データを活用した演習・実習重視の実践型教育
 ・データ分析スキルを向上させる合宿形式「フットキャンプ」
 ・現役Kaggle (世界最大の機械学習競技会) Masterが「Kaggle講義」を担当。在学中のMaster取得へ
 ・企業等との協働による社会実装を目指すPBL「キャップストーンプロジェクト」
 ・海外大学等との連携による海外研修、オンライン教育
 ◆産官学コンソーシアムによる協力体制
 ・大手IT企業等から実務家教員の配置
 ・企業の保有データを教育に提供 など

Diversity (多元的な多様性の確保)
 ◆情報に高い素養を持った人材を積極的に受け入れる入試改革 (2025 (令和7) 年度から)
 ・高い志願倍率による学生確保: 前期4.1倍 後期10.9倍 (令和5年度I類)
 ・個別別試験 (前期) に科目「情報 I」を導入
 ・I類特別選抜にCBT (Computer Based Testing) を活用
 ◆女子枠入試による女子学生の確保 など



(用語説明)

- 1) 米 Kaggle 社 (google 傘下) が運営している機械学習の競技会 (コンペ) サイト。様々な企業が自社では解決が難しい課題を登録し、ユーザーは興味を持ったテーマに取り組み競い合う。その順位等に応じて、称号 (Grandmaster (最高位 全世界で 243 人)、Master (2 位 全世界で 1,643 人) など) が付与される。(人数は 2021 年 1 月 27 日現在)

【連絡先】

電気通信大学 学務部教務課教務係

Tel : 042-443-5075

E-Mail: kyomu-k@office.uec.ac.jp